

現状・課題

- ・本県の人口は、出生数の減少、死亡者数の増加による「自然減」及び就職等に伴う若者の県外流出による「社会減」により、平成10（1998）年の214万人をピークに減少を続け、令和6（2024）年10月時点で174万人と、この26年間で約40万人も減少している。
- ・人口減少は全国的な傾向であり、直ちに人口減少に歯止めをかけることは困難である。
- ・「自然減対策」と「社会減対策」を両輪とした人口減少のスピードを緩和する取組、人口減少下の社会に適応するための取組を進めていく必要がある。

人口目標（人口ビジョンによる）

目標に係る推計	推計の条件①（自然動態）	2040（令和22）年に県民の希望出生率1.51を実現	推計の条件②（社会動態）	2030（令和12）年に社会動態±0（ゼロ）を実現	福島県の人口は 2040（令和22）年に147万人程度 2050（令和12）年に129万人程度 となる見通し
----------------	---------------------	-----------------------------	---------------------	---------------------------	---

2040（令和22）年に福島県総人口 “150万人程度の維持”を目指す

基本理念

連携・共創による「福島ならではの」の県づくり - 「復興・再生」と「地方創生」を両輪で推進 -

- 1 県民の誇り「ふくしまプライド。」を更に光り輝かせ、あらゆる世代、人々の希望を大切に、「挑戦」を支える思いやりあふれる社会の実現
- 2 ふくしまの「可能性、魅力、強み」を更に高め、誰もが安心して暮らせる、しなやかで持続可能な社会の実現
- 3 人の魅力が人を呼び込む「あこがれの連鎖」を更に広げ、新たな価値や魅力の創造に挑戦できる社会の実現

基本目標 1 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）

<p>1 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実</p> <p>(1) 出会い・結婚の応援 [出会いの場の提供、結婚生活に対する支援等]</p> <p>(2) 妊娠・出産の支援 [母子保健に関する取組の推進等]</p> <p>(3) 子育て支援 [保育の充実等]</p>	<p>3 教育の充実</p> <p>(1) 学力・体力等の向上 [学力の向上、体力の向上等]</p> <p>(2) 福島に誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成 [キャリア教育・職業体験の充実等]</p> <p>(3) 魅力ある教育環境づくり [学校のあり方の変革等]</p>
<p>2 健康長寿社会の実現</p> <p>(1) 心身の健康づくり [健康づくり・生活習慣病予防の推進等]</p> <p>(2) 高齢者の生きがいづくり [元気な高齢者の社会参加の促進等]</p>	<p>4 誰もが活躍できる社会の実現</p> <p>(1) 多文化共生社会の環境づくり [地域住民の意識啓発と外国人住民の社会参画支援等]</p> <p>(2) 女性が活躍できる環境づくり [女性の活躍促進等]</p> <p>(3) 多様性社会に向けた環境づくり [多様性の尊重等]</p>

基本目標 2 あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる（暮らし）

<p>1 安全・安心で魅力的な暮らしの実現</p> <p>(1) 防災・安全に関する取組の強化 [地域防災力の向上等]</p> <p>(2) 生活環境の維持向上 [魅力ある住環境の整備等]</p> <p>(3) まちの強靱化と賑わいの創出 [まちづくり・賑わいづくり等]</p> <p>(4) 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進 [文化芸術の振興等]</p>	<p>2 環境と調和・共生する暮らしの実現</p> <p>(1) 脱炭素社会・循環型社会の実現に向けた取組の推進 [温室効果ガスの排出抑制等（緩和策）等]</p> <p>(2) 自然との共生（ネイチャー・ポジティブ） [自然保護等]</p>	<p>3 過疎・中山間地域の振興</p> <p>(1) 担い手の確保 [地域の担い手の確保・育成等]</p> <p>(2) 生活環境の維持・向上 [日々の暮らしに必要な生活基盤（買物環境、生活交通、通信基盤等）の維持・向上等]</p> <p>(3) 仕事の確保 [地域資源を活かした産業の振興等]</p>
---	---	---

基本目標 3 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと）

<p>1 働き方改革の推進</p> <p>(1) 多様で柔軟な働き方 [多様な働き方・休み方の導入促進等]</p> <p>(2) 女性が働きやすい職場づくりの推進 [企業における女性活躍の推進等]</p>	<p>3 中小企業等の振興</p> <p>(1) 中小企業等の成長力強化 [中小企業等の経営基盤強化等]</p> <p>(2) 人材育成・人手不足への対応 [若手人材の確保・定着等]</p> <p>(3) 魅力ある職場づくり・情報発信力の強化 [魅力ある職場づくり等]</p>	<p>5 農林水産業の成長産業化</p> <p>(1) 農林水産物のブランド力向上 [農林水産物の高付加価値化・生産力強化・戦略的な情報発信等]</p> <p>(2) 生産基盤の強化 [産地の大規模化等]</p> <p>(3) 農林水産物の消費・販路拡大と流通促進 [国内における販売力強化等]</p> <p>(4) 農林水産業の担い手確保 [担い手の確保・育成等]</p>
<p>2 若者の定着・還流の促進</p> <p>(1) 福島を知る機会の創出・情報発信 [企業情報・魅力の発信等]</p> <p>(2) 経済的支援による県内就職の促進 [学生等の経済的支援等]</p> <p>(3) 発達段階に応じた地元企業等への愛着形成 [初等・中等教育課程での取組の推進等]</p>	<p>4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進</p> <p>(1) 次世代産業の育成 [福島イノベーション・コースト構想の推進等]</p> <p>(2) 企業誘致の推進と立地企業の振興 [企業誘致の推進等]</p> <p>(3) 起業・創業支援 [チャレンジする人材の育成等]</p>	

基本目標 4 国内外から福島への新しい人の流れをつくる（人の流れ）

<p>1 移住・定住の促進</p> <p>(1) 移住環境づくり [移住者と住民、移住者同士のつながりづくり等]</p> <p>(2) 移住に向けた体制整備と情報発信 [移住のための住まい・仕事・暮らし等の情報発信等]</p> <p>(3) 移住を見据えた関係人口の創出・拡大 [本県のヒト・モノ・暮らしの情報発信等]</p>	<p>2 交流人口の拡大</p> <p>(1) 観光振興 [観光地・観光産業づくり等]</p> <p>(2) 県産品のプロモーション（セールス）の強化 [県産品の振興等]</p> <p>(3) 交流拠点施設等とのネットワークの活用 [福島空港の利活用等]</p> <p>(4) ふくしまとのつながりづくり [福島県とのつながりの強化等]</p>
--	---

人口減少社会への適応

人口減少対策には長期的な取組が必要となることから、人手不足への対応として教育、医療、産業振興等様々な分野におけるデジタル技術を活用した業務効率化や生産性の向上など、人口減少社会に適応していくための取組も重要